

## 編集後記

『丸山眞男記念比較思想研究センター報告』第十五号をお届けいたしました。刊行にあたりましては、関係各位に多大なお力添えをいただきました。深く感謝申し上げます。

今号の内容は、本センターの二〇一九年一月から二月までの活動報告が中心になっています。

本センターの活動報告として、巻頭に丸山文庫所蔵資料の整理・公開状況を収録いたしました。特に草稿類データベースやツイッターなどの、インターネットを通じた利用が年々増加しているようです。今後も利用環境の整備に努めてまいります。

二〇一九年度の丸山文庫記念講演会は、教育学の堀尾輝久先生（東京大学名誉教授）に、「丸山眞男先生の平和思想——ゼミ生としての想いに重ねて」というテーマでお話いただきました。丸山ゼミの受講者としての貴重な証言から丸山の思想を発展的に継承した堀尾先生の現在のご活動まで、非常に興味深いお話をいただきました。堀尾先生に厚く御礼申し上げます。

そのほかに、公開研究会と公開授業の記録を収録いたしました。公開研究会では『丸山眞男集別集』第四巻（岩波書店、二〇一八年）の合評会を行いました。当日、ご報告くださった、森本あんり先生（国際基督教大学教授）、馬場紀寿先生（東京大学教授）、中田喜万先生（学習院大学教授）にご報告のフルペーパーをご寄稿いただきました。「正統と異端」というテーマ

を現在の研究水準から論じていただくことで、丸山の問題意識をさらに深めることになろうかと存じます。公開授業の共通科目「比較思想」は、河野有理先生（首都大学東京教授）に「明治の熟議——『明六雑誌』と論争の時代」という題目でご担当いただきました。随所に現代的なトピックをちりばめた古くて新しい『明六雑誌』の議論に、受講者も熱心に聴き聞いていました。

丸山眞男関係未発表資料翻刻として、「諸家宛丸山眞男書簡十九点」を掲載しました。戦時中から晩年までの書簡によって丸山の知られざる一面がまた明らかになったと思います。書簡のご提供・掲載許可をいただいた皆様ならびに書簡に関する情報をご提供いただきました丸山彰氏、北彰氏、高橋博巳氏、樋口陽一氏、藤田啓介氏に心より御礼を申し上げます。

丸山文庫所蔵資料調査報告は前号より連載開始の「丸山眞男研究文献年表」を収録いたしました。皆様のご参考にしていただけましたら幸いです。また、今号には山辺春彦講師の論文「丸山眞男における一九五〇年代後半講義」を掲載しております。

最後に、前号の「戦中丸山眞男・小山忠恕書簡 往復二二点」第二書簡で小山の宛先になっている「西郊ロッジング」について、荻窪に実在し、国の登録有形文化財に指定されているという情報をいただきました。ご指示くださった澤田朋子氏、丸山彰氏、平石直昭先生に感謝いたします。

本センターは今後もさまざまな形で丸山眞男研究、ひいては近代思想史

研究の発展に貢献できるよう、努めてまいります。皆様のご理解・ご支援のほど、なにとぞお願い申し上げます。

丸山眞男記念比較思想研究センター長 和田博文

訂正…本『報告』第十四号(二〇一九年三月)四六頁下段一二、一四行目の「観閲点呼」は、正しくは「簡閲点呼」でした。お詫びして訂正いたします。

東京女子大学比較文化研究所附置

丸山眞男記念比較思想研究センター報告 第十五号

二〇二〇年三月二二日発行

編集 和田博文

発行 東京女子大学

〒167-8585 東京都杉並区善福寺二一六一

電話・〇三―五三八二―六八一七

FAX・〇三―五三八二―六二二〇

marubun@lab.twc.ac.jp

<http://office.twc.ac.jp/univ/research/institute/maruyama-center/>

印刷 (株)丸井工文社